

令和4年度事業報告

【総括編】

〔主な事業実績〕

事業名等	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	増減 (A)-(B)	摘要	
公益目的事業	不法投棄防止活動				
	県等主催不法投棄防止パトロール 参加者数	59名	33名	26名	5支部で実施 (P6)
	不法投棄撤去作業 参加者数 不法投棄撤去作業 箇所数	85名 3箇所	84名 3箇所	1名 —	3支部で実施 (P7)
	災害対策支援事業				
	情報伝達訓練 登録会員数 調査票回収率	314社 76.1%	310社 75.2%	4社 0.9%	(P8)
	ぼくらはさんぱい探偵団 参加者数	105名	中止	105名	6支部で実施 (P9)
	施設見学会大学生等 参加者数	89名	57名	32名	静岡県立大学 東海大学 (P9)
	環境イベント等啓発活動 参加者数	24社 10名	23社 —	1社 10名	2支部で実施 (P10)
	講習会等				
	各種講習会等	10回 701名	7回 334名	3回 367名	環境管理講座の実施等 (P11～P12)
業許可等講習会	26回 1,543名	26回 1,446名	±0回 97名	(P15)	
マニフェスト頒布枚数	255,200枚	270,900枚	△15,700枚	(P15)	
会員相互の扶助事業	各支部の勉強会等	3回 407名	1回 262名	2回 145名	3支部(オンライン等)で実施 (P16)
	表彰件数	21件	21件	0件	知事褒賞、会長表彰、全産連会長表彰 (P17～P18)
	会員数	1,024	1,024	0	(P21)

[新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響]

《公益目的事業》

実施日	事業名	実施状況	備考
8月 2月10~11日	環境イベント等啓発事業	縮小	2支部実施
8月	ぼくらはさんばい探偵団	縮小	1支部中止

《会員相互の扶助事業》

実施日	事業名	実施状況	備考
	支部優良施設視察研修会	中止	全支部

《管理運営》

※第1～4回理事会 オンライン参加併用

〔主な事業〕

≪公益目的事業≫

1 適正処理推進事業

(1) 不法投棄撲滅活動

①統一パトロールへの参加協力

6月の環境月間や12月の不法投棄撲滅強化月間を中心に、静岡県等が実施する不法投棄防止統一パトロール等に支部毎に取り組み、役員等計59名が参加協力した。

②不法投棄防止広報啓発活動の実施

西部支部では、12月の不法投棄撲滅強化月間において、浜松市と製作した不法投棄防止啓発動画を浜松市内の街頭モニター等で放映した。

③不法投棄廃棄物の撤去作業等の実施

不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、3支部が県健康福祉センターや最寄りの市などの協力を得ながら役員や会員等計85名の参加により、県内3か所の不法投棄廃棄物の撤去作業等に取り組んだ。

また、今年度も、富士支部が県の富士山麓不法投棄廃棄物撤去事業に協力した。

④不法処理防止に係わる情報収集

中部四県「産業廃棄物不法処理防止連絡協議会」合同会議や静岡県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会に出席し、不適正処理事案や不法投棄対策事例などの不法処理防止に係る情報収集に努めた。

(2) 災害対策支援事業の実施

①災害廃棄物処理事業への協力

静岡県及び台風15号の集中豪雨により被災した4市1町からの要請を受けて、中部支部、志太榛原支部、中遠支部が災害廃棄物の処理に協力した。

②災害廃棄物対策に係わる研修会の開催

令和4年11月22日に、青年部協力のもと「災害廃棄物オンライン研修」を開催し、会員及び行政機関等107名が参加した。

③災害廃棄物処理情報伝達訓練の実施

令和5年1月17日から1月24日にかけて、協力会員314社を対象に災害廃棄物処理情報伝達訓練を実施した。

④災害廃棄物受入訓練の実施

令和4年12月28日に、富士支部が富士市との共催により、富士市内で災害廃棄物受入訓練を実施した。

⑤災害廃棄物処理協力車両用標章の作製

災害廃棄物処理に従事する車両が「災害時における石油類燃料の調達に関する協定」に基づき、燃料の供給を受けるようにするための車両に貼付する標章を作製した。

⑥災害廃棄物処理に係わる情報収集

大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会や中部地域協議会災害廃棄物支援協定担当者会議に出席し、災害廃棄物処理広域連携に係わる情報収集に努めた。

2 適正処理啓発事業

(1) 小学生の親子を対象とした環境学習「ぼくらはさんばい探偵団」の実施 (P9)

平成5年度から実施している、「ぼくらはさんばい探偵団(夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会)」は、6支部7コースで実施し、小学生の親子等計45組105名が参加した。

(2) 大学生を対象とした処理施設視察会の実施

「ぼくらはさんばい探偵団」の大学生版として、静岡県立大学と東海大学の学生を対象に実施し、学生等89名が参加した。静岡県立大学ではこの視察会がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

(3) 環境イベント等への参加による啓発活動

西部支部では、浜松市内において、会員企業24社の環境等報告書の啓発展示を実施し、地域生活環境の保全や3R活動等の普及啓発を行った。

富士支部では、富士市主催の「ものづくり力交流フェア2023」に出展し、リサイクル製品原料当てクイズを実施して、3Rの推進を図った。

3 能力開発支援事業

(1) 全国的な会議等への参加による情報収集

(公社)全国産業資源循環連合会や中部地域協議会等が実施する全国的な各種会議等(計11回Web会議を含む。)に役員等が積極的に参加し、意見交換や情報収集に努めた。

(2) タイムリーな情報提供、相談への随時対応

ホームページやメールなどにより、タイムリーな情報提供に努めるとともに、許可手続、適正処理、リサイクルなどの相談にも随時対応した。

(3) 各種講習会・研修会の開催

新たに整備された法令等に対応するための「プラスチック資源循環促進法講習会」や「盛土条例講習会」、労働災害防止を図るための「安全衛生講習会」、産廃処理業者優良認定制度の普及促進に向けた「排出事業者向け普及啓発講習会」等をオンライン又はオンラインと会場開催との併用により10回開催し、701名の参加があった。

(4) 専門部会等の活動

医療廃棄物、建設廃棄物、食品廃棄物、中間処理、青年の各専門部会では、オンラインによる幹事会や勉強会の開催、(公社)全国産業資源循環連合会の専門委員会等への参加などを通じて活動した。

女性部会は、令和5年2月17日に設立総会を開催し、16名が参加して運営体制や部会事業等について協議した。

(5) 「しずおかの産廃」発行等事業

協会機関誌「しずおかの産廃」及び「産廃技術ニュース」を年4回発行し、各種情報を提供した。

(6) 人材確保育成事業

産業廃棄物に係る分野での人材育成を目的に、県内5校の特別支援学校生徒を対象に環境出前講座を実施した。(うち1校は前年度延期分)

4 産業廃棄物管理票(マニフェスト)頒布事業

産業廃棄物処理の適正処理を推進するため、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を255,200枚頒布した。

5 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

(公社)全国産業資源循環連合会及び(公財)日本産業廃棄物処理振興センターと協力し、オンライン形式(パソコン等で講義動画を視聴して受講し、会場で試験のみ受ける)25回と講義ビデオ視聴型形式(会場で講義ビデオを視聴し、試験を受ける)1回の計26回を実施し、1,543名が受験した。

《会員相互の扶助事業》

1 支部運営事業

(1) 各支部主催の勉強会等の開催

3支部においてオンライン等による勉強会を3回開催し、407名の参加があった。

2 意識啓発向上事業

(1) 暴力追放推進事業

令和4年6月15日に暴力追放推進協議会第22回大会を開催した。

(2) 労働安全衛生事業

産業廃棄物処理業における労働安全水準のなお一層の向上を図るため、第2次労働災害防止計画(令和4年度版)を運用した。

(3) 表彰

①産業廃棄物適正処理推進功労者知事褒賞

令和3年度知事褒賞に会員1名が受賞した。

②会長表彰

令和3年度会長表彰に、功労者表彰2名、優良従事者表彰8名、優良事業所表1社、安全優良事業所表彰2社が受賞した。

③(公社)全国産業資源循環連合会会長表彰

令和4年度(公社)全国産業資源循環連合会会長表彰に、当協会関係では、功労者表彰1名、地方功労者表彰2名、優良事業所表彰1社、地方優良事業所表彰1社、優良従事者表彰2名が受賞した。

(4) 人材確保育成事業

令和4年9月8日に「産業廃棄物処理オンライン基礎講座」を開催し、会員企業の新任担当者等64名の参加があった。

【詳細編】

I 公益目的事業

1 適正処理推進事業

(1) 不法投棄防止活動事業

- ① 支部役員等が6月の環境月間に静岡県等の実施する統一パトロールに参加、協力した。

i) 不法投棄防止統一パトロール

実施日：令和4年6月1日

実施機関		場 所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員 4名
	東部 //	沼津市、御殿場市、裾野市、伊豆の国市、長泉町	東部支部役員 9名
	中部 //	島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部役員等 8名
	西部 //	磐田市	中遠支部役員 1名
浜松市		浜松市	西部支部役員等 16名
計			38名

* 中部支部は、静岡市と不法投棄廃棄物回収作業を実施

- ② 支部役員等が12月の不法投棄撲滅強化月間に静岡県の実施する不法投棄防止統一パトロールに参加、協力した。

i) 不法投棄防止統一パトロール

実施日：令和4年12月1日

実施機関		場 所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員 3名
	東部 //	沼津市、裾野市、伊豆の国市、長泉町	東部支部役員 10名
	中部 //	島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部役員 7名
	西部 //	磐田市	中遠支部役員 1名
計			21名

ii) 街頭モニターを利用した不法投棄防止広報啓発

西部支部では、12月の不法投棄撲滅強化月間において、浜松市と製作した不法投棄防止啓発動画を浜松市内の街頭モニター等で放映した。

- ③ 不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、各支部において最寄りの行政機関等の協力を得て不法投棄廃棄物の撤去・処分作業等を実施した。

支部名	実施日	実施機関	場 所	実 績	参 加 者
中部	令和4年 6月1日	中部支部 静岡市	静岡市 清水区	可燃ごみ等 1.01t	中部支部役員 静岡市職員等37名
富士	令和5年 2月17日	富士支部 静岡県	富士宮市 山宮	建設系混合廃棄物 49.35t	富士支部役員、県職員、 富士宮市職員等 24名
東部	3月2日	東部支部 静岡県	沼津市 足高	一廃・産廃混合 750kg	東部支部役員 沼津市職員等 24名
計					85名

- ④ 令和4年5月26日に三重県で開催された中部四県「産業廃棄物不法処理防止連絡協議会」合同会議に会長、適正処理委員長が出席し、国、中部四県(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)及び中部四県の政令市並びに中部四県協会等の産業廃棄物不法処理防止に係る取り組み等について情報共有した。
- ⑤ 令和4年10月6日に静岡市で開催された静岡県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会に事務局が出席し、静岡県及び政令市並びに静岡県警察本部等と産業廃棄物不法処理防止に係る取り組み等について情報共有した。
- ⑥ 令和5年3月8日に適正処理委員会を開催し、適正処理事業等について協議した。

(2) 災害対策支援事業

- ① 静岡県及び台風15号の集中豪雨により被災した4市1町からの「大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定」(締結日:平成19年11月14日)に基づく要請を受けて、中部支部、志太榛原支部、中遠支部が被災市町の災害廃棄物処理にそれぞれ協力対応した。

なお、協力対応した災害廃棄物処理の現場では、支部長から選任された幹事企業10社が被災市町からその業務を受託し、災害廃棄物の適正な処理の実施に努めた。

被災市町	要請受付日	協力対応支部	災害廃棄物処理業務
磐田市	令和4年 9月24日	中遠支部	・仮置場の設置・運営業務 ・運搬及び処分業務
静岡市	9月25日	中部支部	・収集運搬業務 ・仮置場運営業務 ・運搬業務及び処分業務
島田市	9月26日	志太榛原支部	・仮置場の運営業務 ・運搬及び処分業務
川根本町	10月5日	〃	・運搬及び処分業務
焼津市	10月6日	〃	・運搬及び処分業務

- *協力対応した災害廃棄物処理協力業務は、令和5年3月31日までに終了
- *島田市への協力対応については、10月5日に打切り

また、台風8号の集中豪雨により被災した松崎町の災害廃棄物の処理については、8月18日に要請を受けて伊豆支部が対応し、8月29日～9月8日に幹事企業1社が木くずの破砕作業に協力した。

- ② 協会の災害廃棄物処理支援事業の実効性の確保及び市町との災害廃棄物処理対策に係る連携の強化を目的に、災害廃棄物処理協力会員及び市町担当職員を対象とした「災害廃棄物オンライン研修」を青年部協力のもと開催した。

開催日	内 容	受講者
令和4年 11月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県での災害廃棄物対策について ・当協会の災害廃棄物処理支援事業について ・熱海市土石流災害廃棄物処理について ・令和4年台風15号による災害廃棄物処理への当協会の対応について ・グループワーク 	107名 *会員等 78名 行政機関 19市町 29名

- ③ 令和5年1月17日から1月24日にかけて、災害廃棄物処理等協力会員314社を対象に災害廃棄物処理情報伝達訓練を実施した。
- ④ 災害廃棄物受入訓練の実施
令和4年12月28日、富士支部が富士市との共催により、支部災害廃棄物処理協力幹事企業から20名の参加を得て、富士市内で災害廃棄物受入訓練を実施した。
- ⑤ 災害廃棄物処理協力車両用標章の作製
大規模災害時に災害廃棄物処理に従事する車両が、「災害時における石油類燃料の調達に関する協定」に基づき、優先的に燃料の供給を受けるようにするための車両に貼付する標章を作製した。
- ⑥ 令和4年7月15日に適正処理委員会及び青年部会との合同委員会を開催し、静岡県職員及び熱海市職員同席のもと、静岡県の災害廃棄物対策や、協会と市町との連携方法等について意見交換した。
- ⑦ 令和4年4月28日、12月9日、令和5年3月17日に災害対策委員会を開催し、災害廃棄物対策支援事業等について協議した。
- ⑧ 令和4年9月8日にオンラインで、令和5年2月13日に静岡市内で開催された環境省中部地方事務所主催の「大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会」に専務理事がそれぞれ出席した。
- ⑨ 令和4年9月14日に開催された中部地域協議会災害廃棄物支援協定担当者会議に専務理事及び担当事務局員がオンラインで出席し、中部四県の協会が実施する災害廃棄物処理支援事業等について情報交換した。

2 適正処理啓発事業

(1) ぼくらはさんばい探偵団事業

- ① 身近な環境学習の場の提供として、令和4年7月27日から8月4日にかけて、「ぼくらはさんばい探偵団(夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会)」を6支部で実施(中部支部は静岡地区、清水地区に分けて実施)し、小学生の親子等45組105名が参加した。

支部名	開催日	見 学 先	参加者数
伊豆	令和4年 7月27日	・(株)イーシーセンター ・(株)アサギリ	3組11名
東部	7月28日	・(株)稲葉商店 ・(株)イーシーセンター	11組26名
富士	8月3日	・(株)富士環境保全公社 ・(株)イーシーセンター	5組12名
中部 (清水地区)	7月27日	・丸徳商事(有)	6組14名
中部 (静岡地区)	7月29日	・丸徳商事(有)	6組12名
志太榛原	8月4日	・環境のミカタ(株) ・(株)ゲネシス	9組18名
中遠	8月3日	・(株)太洋サービス ・(株)富士エコサイクル	5組12名
西部	7月29日	・ハウス食品(株)静岡工場 ・(株)富士エコサイクル	中止
計			45組105名

- ② 参加した小学生の親子から感想文を募集して、文集CD「ぼくらはさんばい探偵団」として取りまとめ、感想文提出者をはじめ、視察先及び関係機関等に配布した。また、本年は参加を申し込んだ親子まで対象を広げて、ポスター原画と標語の募集を行った。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため規模を縮小して開催

(2) 産業廃棄物処理施設視察会事業

「ぼくらはさんばい探偵団」の大学生版として、静岡県立大学と東海大学の学生等を対象に産業廃棄物処理施設等視察会を実施した。静岡県立大学では、本事業がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

実施日	視 察 先	参 加 者
令和4年 11月30日	・(株)アサギリ	静岡県立大学大学院食品栄養科学部 環境生命科学科生及び教員61名
令和5年 2月21日	・はごろもフーズ(株)新清水プラント ・平金産業(株)	東海大学海洋学部 水産学科生及び教員28名
計		89名

(3) 展示会等出展事業

令和4年8月、西部支部では、浜松市西部清掃工場内において、会員企業24社の環境等報告書を展示し、地域生活環境の保全や3R活動等の普及啓発を行った。富士支部では、令和5年2月10日から11日まで、「ものづくり力交流フェア2023」に出展し、リサイクル製品原料当てクイズを実施して、3Rの推進を図った。

3 能力開発支援事業

(1) 各種会議等への参加による情報収集

【(公社)全国産業資源循環連合会関係】

開催日	開催場所	会議名	参加者(協会)
令和4年 6月17日	東京都	第12回定時総会	会長、専務理事
7月8日	Web会議	第1回全国正会員事務局責任者会議	専務理事
9月14日	Web会議	中部地域協議会第1回専務理事会議	専務理事
9月30日	静岡県	中部地域協議会第1回会長会議	会長、専務理事
		中部地域協議会第1回全体会議	会長、副会長、 専務理事、理事
11月14日 ～15日	岐阜県	中部地域協議会第2回専務理事会議	専務理事
令和5年 1月13日	東京都	新年賀詞交換会	会長、専務理事
2月15日	三重県	中部地域協議会第3回専務理事会議	専務理事
2月3日	Web会議	第2回全国正会員事務局責任者会議	専務理事
2月27日	愛知県	中部地域協議会第2回会長会議	会長、専務理事
		中部地域協議会第2回全体会議	会長、副会長、 専務理事

(2) 産業廃棄物処理業許可指導・相談事業

ホームページやメールなどにより適正処理やリサイクル等に関する最新の情報を提供したほか、許可手続等に関する相談を協会本部で電話等により随時対応した。

(3) 講習会事業

① 廃棄物処理法等関係法令講習会

開催日	開催方法	内 容	受講者
令和4年 5月16日	オンライン	○アスベスト対策講習会 ・改正大気汚染防止法の概要 ・改正石綿障害予防規則の概要 ・石綿含有廃棄物等の適切な取扱いについて *主催：建設廃棄物部会	200名
7月14日	オンライン	○プラスチック資源循環促進法講習会 ・プラスチック資源循環法の概要 ・廃棄物処理法から見たプラスチック資源循環法 ・プラスチック資源循環法施行を受けた、メーカー、搬出事業者の動向 *共催：静岡県環境保全協会	174名
8月23日	オンライン	○盛土条例講習会 ・静岡県盛土等の規制に関する条例の解説 *主催：建設廃棄物部会	110名
令和5年 2月22日	オンライン	○みどりの食料システム法講習会 ・みどりの食料システム法の解説 ・静岡県におけるみどりの食料システム戦略 *主催：食品廃棄物部会	20名

② 優良認定制度に関する研修会【県産廃処理業者優良認定推進委託事業】

i) 優良産廃処理業者認定準備研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和4年 10月21日 11月18日 12月2日	静岡市 (オンライン併用)	産廃情報ネットを利用した情報公表のための入力作業を行い、優良廃棄物処理業者認定制度の認定基準のひとつ「事業の透明性」への適合を目指す実践形式の研修会	28名 (10社)

ii) 排出事業者向け普及啓発講習会

開催日	開催方法	内 容	受講者
令和4年 10月12日	オンライン	・排出事業者のための優良産廃処理業者認定制度 ・事業者の取り組み 排出事業者：鈴木建設(株) 処理業者：(株)クリーンコントロールサービス ・静岡県からお知らせ	42名

③安全衛生講習会

開催日	開催方法	内 容	受講者
令和5年 2月20日	オンライン	テーマ「産業廃棄物処理業における安全教育」 ・産業廃棄物処理業における労働災害の発生状況と対策 ・産業廃棄物処理業における安全衛生活動 *受講者に受講修了書を発行	60名

④不当要求防止責任者講習会

企業対象暴力への対策として、県警察本部及び公益財団法人暴力追放運動推進センターの協力のもと開催

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和4年 12月8日	静岡市	・暴力団情勢、暴力団対策法、県暴力団排除条例の概要 ・反社会的勢力への対応要領等 *受講者に受講修了書を発行	67名

(4) 専門部会活動事業

①医療廃棄物部会

- i) 令和4年8月24日に幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和4年9月15日に東京都産業資源循環協会、神奈川県産業資源循環協会との共催により開催された医療廃棄物合同懇談会に、部会幹事7名がオンラインで出席し、医療廃棄物処理業者が抱える課題への対応等について意見交換した。
- iii) 令和4年10月6日の(公社)全国産業資源循環連合会医療廃棄物運営委員会に部会長がオンラインで出席した。

②建設廃棄物部会

- i) 令和4年10月11日に幹事会をオンラインで開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和4年5月11日にアスベスト対策講習会を、8月23日に盛土規制条例講習会をそれぞれオンラインで開催し、計310名が参加した。
- iii) 令和5年2月16日に総会及び勉強会をオンラインで開催し、部会事業等について協議した。
「資源有効利用促進法省令改正に伴う建設発生土の適切な取扱い」をテーマとした勉強会には、部会員15名が参加した。
- iv) 令和4年9月に、静岡県からの依頼を受けて、建設廃棄物を取扱う部会員30社を対象に建設副産物の処理費等を調査した。
- v) 令和4年5月11日、8月31日の(公社)全国産業資源循環連合会建設廃棄物運営委員会に部会長がそれぞれオンラインで出席した。

③食品廃棄物部会

- i) 令和4年12月16日に幹事会をオンラインで開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和5年2月22日に部会総会をオンラインで開催し、部会事業等について協議した。
また、部会総会后にオンラインによる「みどりの食料システム法講習会」を開催し、会員20名が参加した。

④中間処理部会

- i) 令和4年8月24日に静岡市内で、令和5年2月26日にオンラインで幹事会を開催し、部会事業等についてそれぞれ協議した。
- ii) 令和4年11月15日に廃棄物処理施設における環境賠償保険や産業廃棄物処理委託契約書の電子化をテーマとした講習会をオンラインで開催し、会員31名が参加した。
- iii) 令和4年11月に中間部会員を対象とした現状把握調査を実施し、中間処理業者が抱える課題等を整理した。
- iv) 令和5年3月15日に部会総会をオンラインで開催し、部会事業等について協議した。

⑤青年部会

- i) 令和4年5月10日、6月14日、7月12日、8月9日、9月13日、10月7日、11月8日、12月13日、令和5年1月11日、2月14日、3月14日に幹事会をオンライン等により開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和4年6月14日に総会及び勉強会を開催し、令和3年度事業等の報告をした。勉強会は、第1部では高俊興業(株)齋藤氏を講師に招き「ドライバー教育について～高俊興業の取り組み～」について、第2部では、(株)JEMS 栗井氏より「産業廃棄物業界の効率化に向けたIT活用」について、第3部では、協会安全衛生委員より「はじめての安全衛生規程の整備」というテーマで部会員34名が参加した。
- iii) 令和4年9月16日に視察研修会を開催した。研修会は全国産業資源循環連合会青年部協議会中部ブロックの事業も兼ねて開催し、信越・北陸ブロック会員も呼び寄せ、木村土木(株)と(株)イーシーセンターを見学した。静岡県からは14名が参加した。
- iv) 令和5年1月20日に部会員交流会を開催し、部会員相互の親睦を深め情報交換等をした。

⑥女性部会

- i) 令和4年9月9日に設立準備会を開催し、部会運営方針や設立総会の開催等について協議した。
- ii) 令和5年2月17日に設立総会、記念講演会及び幹事会を開催した。設立総会には16名が出席し、運営体制及び部会事業等について協議した。記念講演会は、フリーアナウンサーの牧野光子氏を講師に招き、「しなやかに、華やかに！好感が持たれる魅力的な話し方」と題して講演を行った。幹事会は設立総会で選任された幹事5名が出席し、来年度の部会事業等について協議した。

(5) 協会機関誌「しずおかの産廃」発行等事業

- ① 協会機関誌「しずおかの産廃」を年4回発行し、協会本部や各支部の活動状況、行政機関から寄せられた情報等に関する各種情報を提供した。
- ② 「産廃技術ニュース」を年4回発行し、産業廃棄物の処理技術、処理施設に関する各種情報を提供した。
- ③ 令和4年5月12日、9月12日、12月6日に広報委員会を開催し、機関誌等の発行をはじめ、産業廃棄物処理施設等視察会の実施計画、人材確保育成事業等について協議した。
- ④ 協会ホームページの利便性を向上させるため、会員専用のホームページを開設するとともに、ホームページ上で発信する環境情報を整理した。
*本格運用は令和5年度から

(6) 人材確保育成事業

令和4年7月12日、令和5年1月12日、1月19日、2月2日、3月7日に県内5校（沼津視覚、静岡南部、掛川、浜名、天竜 内天竜は前年度延期分）の特別支援学校を対象に環境出前講座を行い、その様子が新聞に掲載された。

（主体 青年部会）

特別支援学校での環境出前講座

開催日時	校名及び人数	座 学	体験学習
令和5年 1月19日	沼津視覚特別支援学校 小学部高学年・中等部 9名	・廃棄物、リサイクルについての話 ・身近なものの分別体験	・パッカー車積込体験 ・廃棄物分別体験 ・運搬車乗車体験
2月2日	静岡南部特別支援学校 小中等部 11名	・不法投棄、海洋プラ、リサイクル についての話 ・廃棄物〇×クイズ	・パッカー車積込体験 ・運搬車乗車体験
3月7日	掛川特別支援学校 高等部1年 22名	・不法投棄、海洋プラ、リサイクル についての話 ・クイズ、実験、映像	・パッカー車積込体験 ・廃棄物分別体験 ・運搬車乗車体験
1月12日	浜名特別支援学校 高等部1年 21名	・不法投棄、海洋プラ、SDGs リサイクルについての話 ・クイズ、実験、映像	・パッカー車積込体験 ・廃棄物分別体験 ・運搬車乗車体験
令和4年 7月12日	天竜特別支援学校 小学5、6年・中等部 20名	・不法投棄、海洋プラ、リサイクル についての話 ・廃棄物〇×クイズ	・パッカー車積込体験 ・廃棄物分別体験 ・運搬車乗車体験

4 産業廃棄物管理票(マニフェスト)頒布事業

産業廃棄物処理における適正な管理を推進するため、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を頒布した。

【令和4年度実績】

種 類	頒 布 枚 数 (枚)
産業廃棄物管理票	187,700
建設マニフェスト	67,500
合 計	255,200

5 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

(1) 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

- ① (公社)全国産業資源循環連合会及び(公財)日本産業廃棄物処理振興センターと協力し、オンライン形式と講義ビデオ視聴型形式の試験を計26回開催し、計1,543名の参加があった。

【受講状況】

種 類	開催回数	参加者(名)
産業廃棄物収集運搬課程 【新規】	6	366
産業廃棄物処分課程 【新規】	1	48
特別管理産業廃棄物収集運搬課程 【新規】	1	66
産業廃棄物収集運搬課程 【更新】	9	547
産業廃棄物処分課程 【更新】	2	88
特別管理産業廃棄物管理責任者	6	403
産業廃棄物収集運搬課程 【更新・ビデオ視聴型】	1	25
計	26	1,543

- ② 令和5年2月20日にWeb会議で開催された「2023年度許可講習会における事務取扱説明会(主催:(公財)日本産業廃棄物処理振興センター・(公社)全国産業資源循環連合会)」に事務局が出席し、情報交換等を行った。

II 会員相互の扶助事業

1 支部運営事業

各支部(伊豆、東部、富士、中部、志太榛原、中遠、西部)では、支部の運営、適正処理、広報の3委員会のもと、支部独自または本部との連携により、各種事業を実施した。

(1) 支部総会及び支部委員会の開催

支部総会……………各支部6月に開催

支部委員会……………随時

(2) 「支部だより」の発行

伊豆支部で発行

(3) 勉強会等の実施

支部名	開催日	内 容	参加者
東部	令和4年 6月21日	「講演会」 ・なぜ廃棄物処理業界にDXが必要なのか ～課題と導入事例～	40名
志太榛原	6月21日	「勉強会」(ハイブリッド形式) ・プラスチック資源循環法のポイントと実務対応	51名
西部	令和5年 3月6日	産業廃棄物適正処理に係る説明会(オンライン) ・産業廃棄物処理の基礎 ・解体等工事における大気汚染防止法(石綿)の基礎 ・排出事業者の取組事例 須山建設(株) ヤマハ発動機(株) *共催:浜松市	316名

(4) その他各支部が計画を定め実施する事業

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止

2 意識啓発向上事業

(1) 暴力追放推進事業

令和4年6月15日の定時総会開催後に「(公社)静岡県産業廃棄物協会暴力追放推進協議会第22回大会」を開催し、暴力追放宣言などを行った。

(2) 労働安全衛生事業

- ① 労働安全水準のなお一層の向上を図るため、第2次労働災害防止計画(令和4年度版)を運用した。
- ② 令和4年11月11日、令和5年2月15日に安全衛生委員会を開催し、安全衛生事業等について協議した。

(3) 表彰

① 産業廃棄物適正処理推進功労者知事褒賞

令和3年度知事褒賞に会員1名が受賞した。

【受賞者】(敬称略)

・井出 勇次 (株井出組)

② 会長表彰

令和3年度会長表彰に、功労者表彰2名、優良従事者表彰8名、優良事業所表彰1社、安全優良事業所表彰2社が受賞した。

【受賞者】

(敬称略)

表彰名	被表彰者
功労者表彰	(株)富士環境保全公社 佐野 功
	(有)エーシーピー物流 小笠原 英訓
優良従事者表彰	(株)イーシーセンター 木下 洋之
	(株)イーシーセンター 森川 爵美
	(株)イーシーセンター 山下 純
	(株)イーシーセンター 大久保 博司
	丸徳商事(有) 守田 清隆
	(株)レックス 渡邊 浩
	ヤマハ発動機(株) 小川 中
	スズキ(株) 井上 博勝
優良事業所表彰	静岡クリーンサービス(株)
安全優良事業所表彰	(株)クリーンコントロールサービス
	(株)志太紙業

③ (公社)全国産業資源循環連合会会長表彰

令和4年度 (公社)全国産業資源循環連合会会長表彰に、当協会会員の中から、功労者表彰1名、地方功労者表彰2名、優良事業所表彰1社、地方優良事業所表彰1社、優良従事者表彰2名が受賞した。

【受賞者】

(敬称略)

表彰名	被表彰者
功労者表彰	都商事(株) 宮原 徹
地方功労者表彰	(株)新光重機土木 成生 浩一
	(公社) 静岡県産業廃棄物協会 瀬崎 秀五
優良事業所表彰	静和エンバイロメント(株)
地方優良事業所表彰	(株)フジタ
優良従事者表彰	(株)イーシーセンター 工藤 清功
	丸徳商事(有) 居城 周策

(4) 人材確保育成事業

新任担当者向けの「産業廃棄物処理基礎講座」

開催日	開催方法	内 容	受講者
令和4年 9月 8日	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物処理の心得 産業廃棄物処理法のポイント 廃棄物処理の現場業務:(株)アサギリ 排出事業者の廃棄物管理:ヤマハ(株) 	64名

Ⅲ 管理運営

1 定時総会・理事会等の開催

(1) 定時総会

令和4年6月15日にグランディエールブuketーカイで令和4年度定時総会を開催し、議案3件を原案どおり決議(承認)した。

また、報告1件を行なった。

【決議事項】

- 第1号議案 令和3年度事業報告及び令和3年度収支決算書 承認の件
- 第2号議案 公益社団法人静岡県産業廃棄物協会定款の一部変更の件
- 第3号議案 任期満了に伴う役員選任の件

【報告事項】

- (1) 令和4年度事業計画書及び令和4年度収支予算書

【出席等】

- | | |
|----------------|------|
| 議決権のある当法人の会員総数 | 975名 |
| 決議に必要な会員数 | 975名 |
| 出席会員数 | 762名 |
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、議決権行使書面によるものが673名であった。

(2) 理事会

- ① 令和4年4月26日に中島屋グランドホテルで第1回理事会を開催し、議案3件を原案どおり決議(承認)した。

また、報告1件を行なった。

【決議事項】

- 第1号議案 令和3年度事業報告及び令和3年度収支決算書 承認の件
- 第2号議案 任期満了に伴う役員選任の件
- 第3号議案 新規会員の入会承認の件

【報告事項】

- (1) 令和3年度下半期事業の実施状況

【出席等】

- | | |
|-------------|-----|
| 理事総数 | 29名 |
| 決議に必要な理事の数 | 15名 |
| 出席理事数(会場出席) | 16名 |
| (Web出席) | 7名 |
| 出席監事数(会場出席) | 2名 |

- ② 令和4年6月15日にグランディエールブuketーカイで第2回理事会を開催し、議案4件を原案どおり決議(承認)した。

【決議事項】

- 第1号議案 会長、副会長、専務理事の選定
- 第2号議案 副会長の会長職務の代行順序と業務分担
- 第3号議案 支部長の任命
- 第4号議案 新規会員の入会承認

【出席等】

理事総数	28名
決議に必要な理事の数	14名
出席理事数（会場出席）	22名
出席監事数（会場出席）	2名

- ③ 令和4年10月25日にグランディエールブuketーカイで第3回理事会を開催し、議案3件を原案どおり決議(承認)した。
また、報告3件を行なった。

【決議事項】

- 第1号議案 令和4年度事業計画書及び収支予算書変更の件
第2号議案 公益社団法人静岡県産業廃棄物協会女性部会会則（案）
第3号議案 新規会員の入会 承認の件

【報告事項】

- (1) 女性部会の設立について
(2) 台風15号による災害廃棄物処理への当協会の対応
(3) 令和4年度上半期事業の実施状況

【出席等】

理事総数	28名
決議に必要な理事の数	14名
出席理事数（会場出席）	19名
（Web出席）	4名
出席監事数（会場出席）	2名

- ④ 令和5年3月24日にグランディエールブuketーカイで第4回理事会を開催し、議案5件を原案どおり決議(承認)した。
また、報告2件を行なった。

【決議事項】

- 第1号議案 令和5年度事業計画書及び令和5年度収支予算書の件
第2号議案 令和5年度定時総会の開催の件
第3号議案 旅費規程の一部改正の件
第4号議案 新規会員の入会 承認の件
第5号議案 令和4年度会長表彰の件

【報告事項】

- (1) 令和5年度「全産連」会長表彰に係る被表彰者の推薦
(2) 女性部会設立総会

【出席等】

理事総数	28名
決議に必要な理事の数	14名
出席理事数（会場出席）	18名
（Web出席）	5名

(3) 運営委員会

令和4年4月18日、5月27日（書面表決）、10月14日、令和5年3月10日に運営委員会を開催し、総会及び理事会へ付議する議案等について協議した。

2 新規会員の入会促進と会員管理システムの運用

(1) 新規会員の入会促進

協会未入会の建設業者や多量排出事業者等を対象に入会案内を送付するとともに、会員以外も参加する講習会等において入会案内を配布するなど新規会員の入会促進に努め、14件の入会があった。

その一方で14件の退会等があったため、令和4年度末の会員総数は1,024会員となった。

【令和4年度会員数の推移】

区 分		令和4年 4月1日	入 会	退 会	令和5年 3月31日	
正 会 員	処 理 業 者	収集運搬	326	8	5	329
		中間処分	306	2	1	307
		最終処分	27	0	0	27
	小 計		659	10	6	663
	排 出 事 業 者	排出事業者	292	2	6	288
		団 体	24	0	0	24
	小 計		316	2	6	312
計		975	12	12	975	
賛 助 会 員		49	2	2	49	
合 計		1,024	14	14	1,024	

※退会等の主な理由

- ・ 処理業者では、会社合併、組織再編、業の廃止等
- ・ 排出事業者では、事務所等の閉鎖、経費の削減等

(2) 会員管理システムの運用

会員管理システムを適切に運用し、会員の処理業許可更新時期のお知らせや情報配信等に役立てた。

附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。